

令和6年度（令和5年度実施）
 高知県公立学校教員採用候補者選考審査
 筆記審査（専門教養）
 高等学校 特別支援学校 高等部
 商業

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 ○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。
- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。解答については、本冊子の裏表紙の＜解答上の注意＞をお読みください。ただし、問題冊子は開かないでください。



第1問 基礎的・総合的科目とマーケティング，マネジメント分野に関する内容について1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～③の文は，チェーン化の方式について述べたものである。該当する方式の組み合わせとして正しいものを，下のa～eから一つ選びなさい。

- ① 一つの企業が多数の店舗を設け，商品の仕入れや広告などを本部でまとめて行い，仕入価格の引き下げや経費の節減を行う方式である。
- ② 独立した多数の小売業が，企業としての独立性を保ちつつ協力して組織している方式である。
- ③ 本部が加盟店を募集し，加盟店に対して商品の供給や販売方法の指導を行い，加盟店から一定のロイヤリティを受け取る方式である。

- | | | |
|---|---------------|---------------|
| a | ① コーポレートチェーン | ② ボランタリーチェーン |
| | ③ フランチャイズチェーン | |
| b | ① コーポレートチェーン | ② フランチャイズチェーン |
| | ③ ボランタリーチェーン | |
| c | ① ボランタリーチェーン | ② コーポレートチェーン |
| | ③ フランチャイズチェーン | |
| d | ① ボランタリーチェーン | ② フランチャイズチェーン |
| | ③ コーポレートチェーン | |
| e | ① フランチャイズチェーン | ② ボランタリーチェーン |
| | ③ コーポレートチェーン | |

(2) 企業が納める税金で国税であるものの組み合わせとして正しいものを，次のa～eから一つ選びなさい。

- a 法人税，住民税，消費税
- b 不動産取得税，住民税，事業税
- c 法人税，印紙税，消費税
- d 固定資産税，住民税，事業税
- e 不動産取得税，事業税，消費税

(3) 契約社員について述べた文を、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 雇用契約の期間の定めがなく、長期雇用を前提とした待遇や人事制度のもとで働く労働者。
- b 一週間の所定労働時間が正社員に比べて短い労働者で、賃金は、時給制や日給制が多い。
- c 労働時間は一般的に長く、配置転換によって勤務地や所属部署などが変わることが少なくない労働者。
- d 数か月や一年など期間を定めた雇用契約を結び、業務に従事する労働者。
- e 派遣会社と雇用契約を結び、派遣会社以外の企業に派遣されて、働く労働者。

(4) インターネットから情報を入手する際の特徴と留意点を最も適切に述べた文を、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 大勢の人が同時に同じ情報を得ることができるが、特定の情報内容を指定して入手することは難しい。
- b 専門性が高く、テーマがしぼられているため、調べたい分野が明確な場合などに、効率的に情報を入手することができる。ただし、その鮮度を見極める必要がある。
- c 信頼性が高く、その分野についての現状や課題を継続的にみるのに便利である。しかし、ある目的のもとで行なっている調査からの情報であることを理解する必要がある。
- d 政治、経済、社会、文化などさまざまな情報を扱っており、社会全体の動きをみるのに便利である。信頼性は比較的高いが、内容の書き方などに偏りがなくどうか見極める必要がある。
- e 情報発信のスピードが速く、世界中の大量かつ最新の情報をすぐに手に入れることができる。しかし、情報の正確性についてはよく見極める必要がある。

2 次の (1) ~ (4) の問いに答えなさい。

(1) 銀行の業務の中で、手形割引を説明した文を、次の a ~ e から一つ選びなさい。

オ

- a 銀行が仲立ちして送金や手形、小切手の取り立てを行う仕組みである。
- b 顧客から信託された財産を管理、運用し、その手数料を受け取る仕組みである。
- c 当座預金の残高を超えてあらかじめ契約した限度額までの小切手の振り出しを認める貸し付けの仕組みである。
- d 手形を満期日前に銀行が買い取ることで資金を融通する仕組みである。
- e 手形を振り出させ、その手形の金額と同額の資金を貸し付ける仕組みである。

(2) 営利を目的とし、出資者の責任範囲が有限で、出資と経営が分離可能な会社組織を、次の a ~ e から一つ選びなさい。カ

- a 株式会社
- b 合名会社
- c 合資会社
- d 合同会社
- e 協同組合

(3) 10英ガロンにつき£5,740.50の商品を20L建にすると円でいくらになるか。正しいものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。ただし、1英ガロン=4.546L, £1=¥156.50とする。(計算の最終で円未満4捨5入) キ

- a ¥395,243
- b ¥408,407
- c ¥898,388
- d ¥3,952,434
- e ¥4,084,073

(4) 「弊社では、さまざまな商品を販売しております。」と話す時の英文として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。ク

- a Our company deals in various kinds of goods.
- b Our products sell well even in overseas markets.
- c I'm afraid this is the best price that we can offer you.
- d In my opinion, the offered price might be too high.
- e Our stock of this item is low at present.

3 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 市場調査における定量調査の説明として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 顧客が製品を購入する動機や製品に対する思いなどの要素を理解しようとする調査。
- b 本調査に準じた調査で、市場調査の対象から、一部を取りだして実態調査を行う活動。
- c 製品がいくつ売れたのか、何人の顧客が買ったのかなど数値や量で市場を理解しようとする調査。
- d 時系列的にデータを捉えるのではなく、一定時点における特定の集団の状態を把握する調査。
- e 新製品の開発や改良を行う際に、顧客の潜在的ニーズや顕在的ニーズを明らかにするための調査。

(2) 販売価格が2,000円の製品を10%値上げしようとしている企業がある。その企業では、販売価格が2,000円ときには需要量は10,000個だったが、2,200円になると需要量は8,000個に減少することがわかった。このとき需要の価格弾力性はいくらになるか。適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a -2 b -0.5 c 0.5 d 1 e 2

(3) 原価志向型の価格決定法のうち、小売業者の多くが採用しているのがマークアップ法である。このとき値入率の計算式として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a $\frac{\text{販売価格}}{\text{利幅}} \times 100 (\%)$ b $\frac{\text{利幅}}{\text{販売価格}} \times 100 (\%)$
- c $\frac{\text{仕入原価}}{\text{販売価格}} \times 100 (\%)$ d $\frac{\text{利幅}}{\text{仕入原価}} \times 100 (\%)$
- e $\frac{\text{仕入原価}}{\text{利幅}} \times 100 (\%)$

- (4) 開発テーマなどのキーワードを中央に置き，そこから放射状にアイデアを広げ，つなげていく方法をなんというか。適切なものを，次のa～eから一つ選びなさい。

シ

- a ブレインストーミング b KJ法 c アイデアマップ
d アイデア・スクリーニング e 欠点列挙法

- (5) 次の①～③の文は，経営戦略の分析方法について述べたものである。該当する方式の組み合わせとして正しいものを，下のa～eから一つ選びなさい。 ス

- ① 競合・顧客・自社を軸に情報を調査・分析する手法である。
② ビジネスを取り巻く外部環境を，政治・経済・社会・技術を軸に情報を整理して考える手法である。
③ ビジネスを取り巻く外部環境とビジネスの内部環境を，強み・弱み・機会・脅威の要因から分析する手法である。

- a ① PEST分析 ② SWOT分析 ③ 3C分析
b ① 3C分析 ② SWOT分析 ③ PEST分析
c ① PEST分析 ② 3C分析 ③ SWOT分析
d ① SWOT分析 ② PEST分析 ③ 3C分析
e ① 3C分析 ② PEST分析 ③ SWOT分析

第2問 会計分野に関する内容について1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の取引の仕訳として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

高知商事株式会社は、株主総会の決議にもとづき、繰越利益剰余金の借方残高（損失）¥7,300,000をてん補するために、資本準備金¥7,300,000を減少した。

	借 方		貸 方	
a	資本準備金	7,300,000	利益準備金	7,300,000
	利益準備金	7,300,000	繰越利益剰余金	7,300,000
b	資本準備金	7,300,000	繰越利益剰余金	7,300,000
c	繰越利益剰余金	7,300,000	資本準備金	7,300,000
d	資本準備金	7,300,000	その他資本剰余金	7,300,000
	その他資本剰余金	7,300,000	繰越利益剰余金	7,300,000

(2) 次の文は有形固定資産に関して述べたものである。、に入る適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。ただし、は各自考えること。

有形固定資産の通常の維持・管理および、原状を回復させるための支出をという。はとなる支出であるが、これを誤って、とした場合、その会計期間のが計上されず、損益計算を正しく行うことができない。

- a ① 資本的支出 ② 費用
 b ① 収益的支出 ② 収益
 c ① 収益的支出 ② 費用
 d ① 資本的支出 ② 収益

- (3) 土佐商事株式会社の決算日における当座預金出納帳の残高は¥1,100,000であり、銀行からの当座勘定残高証明書の金額は¥1,600,000であった。不一致の原因を調査したところ、次の資料を得た。よって、当座預金出納帳の次月繰越高を求め、、に当てはまる数字を答えなさい。

資 料

- i) 決算日に預け入れた現金¥200,000が、営業時間外のため銀行で翌日付けの入金として扱われていた。
 ii) かねて仕入先に振り出していた小切手¥300,000が、銀行でまだ支払われていなかった。
 iii) かねて取り立てを依頼していた約束手形¥400,000について、銀行で取り立て済みであったが、当社ではまだ記帳していなかった。

当座預金出納帳の次月繰越高 ¥ . 00,000

- (4) 四国商事株式会社は、令和〇年3月31日に徳島商事株式会社の株式の75%を64,000千円で取得し支配した。次の取得日における徳島商事株式会社の貸借対照表によって「非支配株主持分」と「のれん」の金額を求め、、、、に当てはまる数字を答えなさい。

なお、支配獲得日における徳島商事株式会社の建物の時価は20,000千円であり、その他の資産と負債の時価は、帳簿価額と等しかった。

貸 借 対 照 表

徳島商事株式会社		令和〇年3月31日		(単位：千円)
資 産	金 額	負債及び純資産	金 額	
現 金 預 金	17,000	買 掛 金	10,000	
売 掛 金	9,000	資 本 金	50,000	
商 品	6,000	資 本 剰 余 金	16,000	
建 物	18,000	利 益 剰 余 金	12,000	
備 品	3,000			
土 地	35,000			
	88,000			88,000

非支配株主持分の金額

,000千円

のれんの金額

00千円

- 2 関西商事株式会社の次の資料および比較貸借対照表と比較損益計算書によって、下の(1)～(4)の問いに答えなさい。

資 料

- i) 第5期の期首商品棚卸高は¥600,000である。
 ii) 第6期の当座比率は182.5%、売上高純利益率(当期純利益による)は2%である。
 iii) 第5期・第6期とも商品評価損および棚卸減耗損は発生していない。

比較貸借対照表

資 産	第5期	第6期	負債・純資産	第5期	第6期
現金預金	350,000	360,000	支払手形	280,000	270,000
受取手形	450,000	470,000	買掛金	300,000	280,000
売掛金	465,000	450,000	短期借入金	180,000	()
有価証券	170,000	180,000	未払費用	40,000	50,000
商品	700,000	730,000	未払法人税等	70,000	60,000
前払費用	40,000	()	社 債	500,000	510,000
建物	1,700,000	1,670,000	長期借入金	190,000	170,000
備品	250,000	240,000	退職給付引当金	370,000	380,000
土地	900,000	900,000	資 本 金	2,700,000	2,700,000
投資有価証券	280,000	290,000	資本剰余金	400,000	400,000
			利益剰余金	275,000	380,000
	5,305,000	()		5,305,000	()

比較損益計算書

項 目	第5期	第6期
売上高	8,800,000	9,000,000
売上原価	7,150,000	()
売上総利益	1,650,000	()
販売費及び一般管理費	1,300,000	1,870,000
営業利益	350,000	()
営業外収益	65,000	80,000
営業外費用	105,000	140,000
経常利益	310,000	()
特別損失	10,000	—
税引前当期純利益	300,000	()
法人税・住民税及び事業税	130,000	140,000
当期純利益	170,000	()

- (1) 第5期の有形固定資産合計として正しい金額を、次のa～dから一つ選びなさい。

ケ

- a ¥2,600,000 b ¥2,850,000 c ¥3,130,000 d ¥3,540,000

(2) 第6期の売上高総利益率(%)として正しい数値を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 20 b 23 c 25 d 27

(3) 次の文の(①)と(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

流動比率は、第5期が250%であり、第6期は(①)%である。よって、流動比率によれば、第6期は第5期に比べて短期の支払能力が(②)なったといえる。

- a ① 273 ② 高く
 b ① 273 ② 低く
 c ① 280 ② 高く
 d ① 280 ② 低く

(4) 次の文の(③)と(④)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

商品有高の平均と売上原価を用いて計算した商品回転率は第5期が(③)回であり、第6期は約9回であった。よって、第6期は第5期に比べて、販売効率が(④)といえる。

- a ③ 8 ④ 良い
 b ③ 8 ④ 悪い
 c ③ 11 ④ 良い
 d ③ 11 ④ 悪い

3 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 次の取引の仕訳として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

工場会計が独立している高知製作所の本社は、決算にあたり、建物の減価償却費¥850,000を計上した。ただし、このうち¥340,000は工場の建物に対するものであり、建物減価償却累計額勘定は本社のみで設けてある。(本社の仕訳)

	借 方		貸 方	
a	販売費及び一般管理費	510,000	建物減価償却累計額	850,000
	工 場	340,000		
b	減 価 償 却 費	850,000	建物減価償却累計額	850,000
c	工 場	340,000	建物減価償却累計額	340,000
d	減 価 償 却 費	510,000	建物減価償却累計額	850,000
	工 場	340,000		

(2) 次の文の(①), (②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

製品を製造するために要した費用の合計に(①)を加えた額を総原価という。また、原価計算の目的には、(②)の作成に必要な資料の提供や原価管理に必要な資料の提供などがある。

- | | | |
|---|--------------|-----------|
| a | ① 販売費及び一般管理費 | ② 財務諸表 |
| b | ① 販売費及び一般管理費 | ② 製造指図書 |
| c | ① 製造間接費 | ② 原価計算表 |
| d | ① 製造直接費 | ② 製造原価報告表 |

(4) 次の資料から「損益分岐点売上高」の金額と「損益分岐点比率」の数値を求め、正しいものをそれぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

損益分岐点売上高
 損益分岐点比率

資 料

- ① 予想売上高 ¥5,000,000 (販売単価 ¥1,000 販売数量 5,000個)
 ② 変動費 ¥2,000,000
 ③ 固定費 ¥2,400,000

a ¥1,440,000 b ¥2,800,000 c ¥3,000,000 d ¥4,000,000

a 28.8% b 56% c 60% d 80%

第3問 ビジネス情報分野に関する内容について1～4の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(6)の説明文に該当するものとして正しいものを、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(1) ファイルを検索するときに、任意の文字列や一つの文字の代用として使うことができる特殊文字。

- a ワイルドカード b 拡張子 c キーロガー d インデント

(2) 文字コードのみのデータで構成されたファイル。

- a テキストファイル b HTMLファイル
c バイナリファイル d PDFファイル

(3) 世界的に広く使われているファイル圧縮形式の一つ。複数のファイルを含むディレクトリ（フォルダ）を圧縮することが可能である。

- a MIDI b ZIP c OSS d JPEG

(4) リレーショナルデータベースのテーブルから必要なフィールドを取り出し、新しい表を作る操作。

- a 洗い出し b 選択 c 射影 d 結合

(5) 2進数の101101と10進数の23の差を表す2進数。

- a 10010 b 10110 c 10111 d 11010

(6) 横1,400画素、縦1,200画素の画像をフルカラーで圧縮せずに保存する。画像1枚の記憶容量は約何MBになるか。ただし、フルカラーは24ビットカラーとし、1MB=10⁶Bとする。

- a 4.0MB b 5.0MB c 5.6MB d 8.7MB

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の表は、ある商店の売上表である。顧客カードの有無と購入金額を入力すると、割り引き後の金額を表示する。顧客カードがあるか、あるいは、購入金額が5,000円以上であれば、購入金額の10%を割り引く。D3に設定する式として適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

	A	B	C	D	E
1	売上表				
2	顧客番号	カードの有無	購入金額	売上金額	
3	1204		2,900		
4	1052	○	2,300		
5	1185		6,100		
6	1742		4,900		
7	1528	○	6,800		
8	1386		2,100		
9	1431		5,000		

- a =IF(OR(B3="○",C3>=5000),C3*0.9,C3)
 b =IF(AND(B3="○",C3>=5000),C3*0.9,C3)
 c =IF(OR(B3="○",C3>=5000),C3,C3*0.9)
 d =IF(AND(B3="○",C3>=5000),C3,C3*0.9)

- (2) 次の表は、クラス対抗のハンドボール投げの記録一覧表である。各クラスの上位3名の各記録を表示し、上位3名の記録の平均値でクラス順位をつける。B8に設定する式として適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。ただし、この式をG8までコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	ハンドボール投げ記録一覧表							
2		1組	2組	3組	4組	5組	6組	
3	選手1	74	81	77	82	74	70	
4	選手2	78	59	83	78	79	74	
5	選手3	69	64	75	75	76	72	
6	選手4	75	76	77	79	72	76	
7	選手5	76	70	74	81	80	79	
8	1位							
9	2位							
10	3位							
11	平均							
12	順位							

- a =LARGE(\$B3:\$B7,VALUE(LEFT(A8,1)))
 b =SMALL(B3:B7,VALUE(LEFT(\$A8,1)))
 c =SMALL(\$B3:\$B7,VALUE(LEFT(A8,1)))
 d =LARGE(B3:B7,VALUE(LEFT(\$A8,1)))

- (3) 次の表は、オーケストラの定期演奏会の価格表である。シート名「価格表」の月と種類を入力すると価格が表示される。シート名「価格表」のB4に設定される式の空欄 (①), (②) に当てはまる関数として適切なものの組み合わせを、下の a～d から一つ選びなさい。

シート名「価格表」

	A	B	C
1	価格表		
2	種類		
3	月		
4	価格		
5			

シート名「定期演奏会価格表」

	A	B	C	D	E
1	定期演奏会価格表				
2	種類	S	A	B	
3	7月	12,000	10,000	8,000	
4	8月	18,000	15,000	10,000	
5	9月	15,000	13,000	9,000	

= (①) (定期演奏会価格表!B3:D5,
 (②) (B3,定期演奏会価格表!A3:A5,0),(②) (B2,定期演奏会価格表!B2:D2,0))

- a ① VLOOKUP ② MATCH
 b ① HLOOKUP ② INDEX
 c ① INDEX ② MATCH
 d ① MATCH ② INDEX

3 次の (1)・(2) の問いに答えなさい。

(1) ある洋菓子店では、1日のケーキの販売状況を次のようなりレーショナル型データベースを利用して管理している。下の①～③のSQL文によって抽出されるデータを、それぞれあとの a～d から一つずつ選びなさい。

商品表

商品コード	商品名	単価	種類コード
A101	ショートケーキ	550	SU
A102	ヨーグルトケーキ	500	CH
A103	フルーツタルト	600	TA
A104	ガトーバスク	650	TA
A105	クロスタータ	450	TA
A106	シフォンケーキ	600	SU
A107	ティラミス	500	CH
A108	カップケーキ	550	SU

売上表

売上コード	従業員コード	商品コード	数量
B101	C01	A101	5
B102	C01	A107	5
B103	C02	A102	6
B104	C02	A105	8
B105	C02	A106	6
B106	C03	A102	2
B107	C01	A103	4
B108	C01	A104	4
B109	C01	A108	4
B110	C03	A101	8
B111	C02	A101	2
B112	C01	A106	3
B113	C03	A107	6
B114	C03	A108	6
B115	C01	A101	2
B116	C03	A104	1
B117	C01	A102	8
B118	C03	A106	6
B119	C02	A101	4
B120	C02	A106	4
B121	C02	A105	4

種類表

種類コード	種類名
SU	スポンジ
CH	チーズ
TA	タルト

従業員表

従業員コード	従業員名	在籍年数
C01	岡田春菜	12
C02	山本香織	10
C03	佐藤光子	3
C04	品川大輔	1

① SELECT 従業員名 FROM 従業員表 WHERE 在籍年数 < 3 コ

a	b	c	d
品川大輔	佐藤光子 品川大輔	山本香織 佐藤光子 品川大輔	岡田春菜 山本香織 佐藤光子 品川大輔

② SELECT 商品コード, 商品名 FROM 商品表, 種類表 サ

WHERE 商品表.種類コード = 種類表.種類コード
AND 種類名 = 'スポンジ' AND 単価 > 550

a	b	c	d
A106 シフォンケーキ	A101 ショートケーキ A108 カップケーキ	A101 ショートケーキ A106 シフォンケーキ A108 カップケーキ	A103 フルーツタルト A104 ガトーバスク A106 シフォンケーキ

- ③ SELECT 従業員名, 商品名, 数量 FROM 商品表, 種類表, 従業員表, 売上表
 WHERE 商品表.商品コード = 売上表.商品コード
 AND 商品表.種類コード = 種類表.種類コード
 AND 従業員表.従業員コード = 売上表.従業員コード
 AND 種類コード = 'CH' AND 従業員表.従業員コード = 'C03'

シ

a

佐藤光子	ティラミス	6
------	-------	---

b

佐藤光子	ガトーバスク	2
------	--------	---

c

佐藤光子	ヨーグルトケーキ	2
佐藤光子	ティラミス	6

d

佐藤光子	ショートケーキ	8
佐藤光子	カップケーキ	6
佐藤光子	シフォンケーキ	6

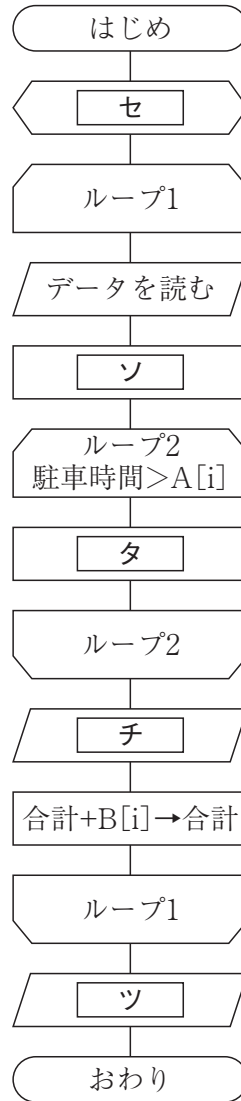
- (2) (1) のリレーショナル型データベースで, 次のSQL文を実行したとき表示される適切な数値を, 下の a ~ d から一つ選びなさい。

ス

SELECT COUNT(*) AS 実行結果 FROM 売上表 WHERE 数量 <= 3

a 4 b 5 c 11 d 13

- 4 第1図の入力データを読み、処理条件にしたがって第2図のように表示したい。次の流れ図の ~ に該当するものを、下の a ~ e から一つずつ選びなさい。



- a 0→i
- b i+1→i
- c 0→合計
- d 合計を表示
- e 利用番号, 駐車時間, B[i]を表示

処理内容

駐車についての入力データを読み、料金一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

利用番号	駐車時間 (分)
NO	Jl
×××	×××

(第1図)

実行結果

(利用番号)	(駐車時間)	(駐車料金)
×××	×××	××,×××
×××	×××	××,×××
	(合計)	×××,×××

(第2図)

(注) ×印は数値を表す。

処理条件

- 1 駐車時間は720分未満で、60分につき¥400である。なお、2時間までは¥400であり、10時間以上は¥3,400である。
- 2 駐車料金は、駐車時間をもとに配列Aを探索し、配列Bに記憶されている値を使用する。なお、配列Aには駐車時間範囲の上限(単位:分)が、配列Bには駐車時間に対応する駐車料金(単位:円)があらかじめ記憶されており、配列AとBは添字で対応している。

配列

A	(0)	(1)	~	(12)
	120	180	~	720
B	(0)	(1)	~	(12)
	400	800	~	3400

- 3 入力データが終了したら、駐車料金の合計をディスプレイに表示する。
- 4 データにエラーはないものとする。

【選択問題 高等学校】

第4問 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 商業編について1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「ビジネス・マネジメント」の内容とその取扱いに関するものである。
, に該当する適切な語の組み合わせを、下の a～d から一つ選びなさい。

ビジネスの展開を題材としたマネジメントに関する具体的な課題を設定し、科学的な根拠に基づいて などを考案するとともに、 を効果的に活用した事業計画を立案して提案などを行う学習活動を通して、マネジメントに適切に取り組むことができるようにすること。

- a ① ケーススタディ ② 組織
 b ① ケーススタディ ② 経営資源
 c ① ビジネスアイデア ② 経営資源
 d ① ビジネスアイデア ② 組織

- 2 次の文は、「ソフトウェア活用」の内容とその取扱いに関するものである。
, に該当する適切な語の組み合わせを、下の a～d から一つ選びなさい。

情報技術の進歩に留意して指導すること。また、情報を に分析し工夫して表現する学習活動、情報の管理と提供の方法について を行う学習活動及びソフトウェアを活用する具体的な場面を想定した実習を通して、企業活動においてソフトウェアを適切に活用することができるようにすること。

- a ① 多面的・多角的 ② 課題発見
 b ① 体系的・系統的 ② 考察や討論
 c ① 実践的・体験的 ② 課題発見
 d ① 多面的・多角的 ② 考察や討論

- 3 次の文は、商業科の分野構成に関するものである。□①□，□②□に該当する適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。□ウ□

(略) 分野共通の科目とするとともに、その中の□①□は基礎的科目、□②□は総合的科目とした。

- a ① 「ビジネス基礎」と「ビジネス・コミュニケーション」
 ② 「課題研究」と「総合実践」
 b ① 「ビジネス基礎」と「課題研究」
 ② 「ビジネス・コミュニケーション」と「総合実践」
 c ① 「ビジネス基礎」と「総合実践」
 ② 「課題研究」と「ビジネス・コミュニケーション」
 d ① 「課題研究」と「総合実践」
 ② 「ビジネス基礎」と「ビジネス・コミュニケーション」
- 4 次の文は、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に関するものである。□①□，□②□に該当する適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。□エ□

指導に当たっては、(1)「□①□」が習得されること、(2)「思考力、判断力、表現力等」を育成すること、(3)「学びに向かう力、□②□」を涵養することが偏りなく実現されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通しながら、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが重要である。

- a ① 見方・考え方 ② 能動的に学び続けること
 b ① 見方・考え方 ② 人間性等
 c ① 知識及び技術 ② 能動的に学び続けること
 d ① 知識及び技術 ② 人間性等
- 5 次の文は、学校設定科目に関するものである。□①□，□②□に該当する適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。□オ□

商業科においては、通常履修される教育内容などを想定して、□①□が示されている。しかし、ビジネスの発展や地域の実態等に対応し、□②□の教育を積極的に展開する必要がある場合など、学校設定科目を設けることにより、特色ある教育課程を編成することができる。

- a ① 18科目 ② 外国語
 b ① 20科目 ② 外国語
 c ① 20科目 ② 新しい分野
 d ① 18科目 ② 新しい分野

【選択問題 特別支援学校】

第4問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の表は、令和4年12月13日に文部科学省により示された「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」に関するものである。

(1) 小学校・中学校の「学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合として、に当てはまる正しい数値を、下のa～eから一つ選びなさい。

<小学校・中学校>

	推定値
学習面又は行動面で著しい困難を示す	<input type="text" value="ア"/> %

a 4.6 b 6.5 c 7.3 d 8.8 e 10.3

(2) 学校種別ごとの「学習面又は行動面で著しい困難を示す」児童生徒の割合として、～に当てはまる正しい数値を、下のa～eから一つ選びなさい。

	学習面又は行動面で著しい困難を示す	推定値		
		A	B	C
小学校	<input type="text" value="イ"/> %	7.8%	4.7%	2.0%
中学校	<input type="text" value="ウ"/> %	3.7%	2.6%	1.1%
高等学校	<input type="text" value="エ"/> %	1.3%	1.0%	0.5%

※ A：「学習面で著しい困難を示す」、B：「不注意」又は「多動性－衝動性」の問題を著しく示す、C：「対人関係やこだわり等」の問題を著しく示す」

a 0.9 b 2.2 c 5.6 d 8.2 e 10.4

- 2 次の文は、令和5年3月に文部科学省より示された「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援に係る方策について（通知）」の一部である。文中の ～ に当てはまる語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

この度、文部科学省の下に設置された「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議」において、令和5年3月13日に報告が取りまとめられました。

(中略)

具体的には、

- ・校長のリーダーシップの下、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の実態を適切に把握し、適切な指導や必要な支援を組織的に行うための を充実させること
- ・児童生徒が慣れた環境で安心して通級による指導を受けられるように や巡回指導をはじめとする通級による指導を充実させること
- ・通級による指導を担当する教師等の専門性の向上を図ること
- ・高等学校における通級による指導の実施体制を充実させること
- ・特別支援教育に関する専門的な知見や経験等を有する特別支援学校における小中高等学校等への指導助言等の を充実させること
- ・よりインクルーシブで多様な教育的ニーズに柔軟に対応するため、特別支援学校を含めた2校以上の学校を一体的に運営するインクルーシブな学校運営モデルを創設すること

などについて提言されています。

- | | |
|-----------|-----------------|
| a 多様な学びの場 | b カリキュラム・マネジメント |
| c 学校運営協議会 | d 校内支援体制 |

- | | |
|-----------|--------|
| a グループ別指導 | b 自校通級 |
| c 他校通級 | d 個別指導 |

- | | |
|-------------|-----------|
| a カウンセリング機能 | b 一貫した支援 |
| c 継続的な支援 | d センターの機能 |

- 3 次の文は、特別支援学校学習指導要領解説（平成30年3月）各教科等編（小学部・中学部）第4章 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科 第2節 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校における指導の特徴について 3 指導の形態についての記述の一部である。文中の ～ に該当する語句を、下の a～d からそれぞれ一つ選びなさい。

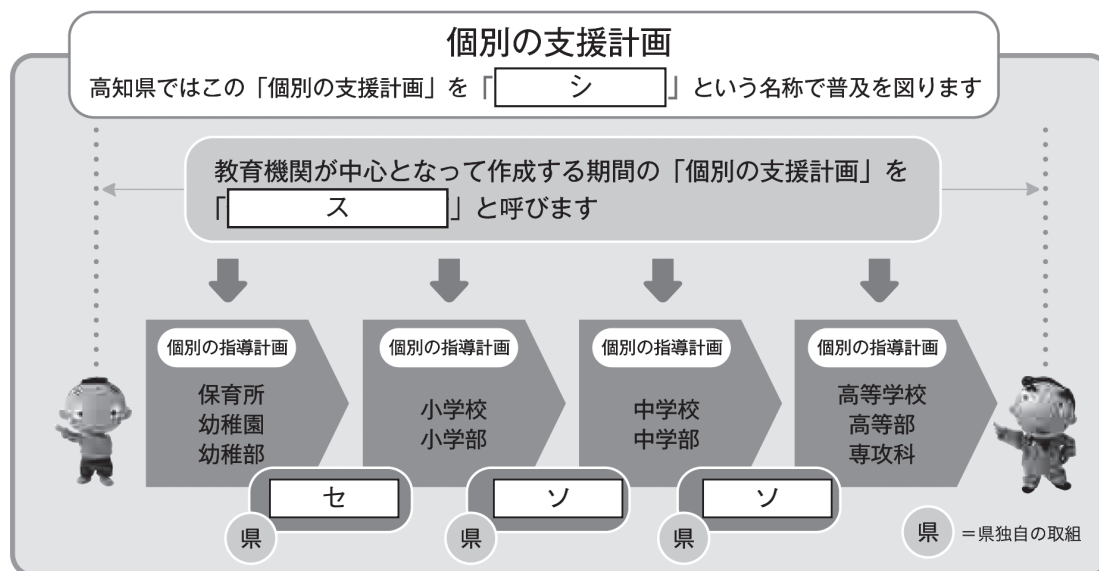
知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、児童生徒の学校での生活を基盤として、 の流れに即して学んでいくことが効果的であることから、従前から、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習などとして実践されてきており、それらは「各教科等を合わせた指導」と呼ばれている。

各教科等を合わせて指導を行うことに係る法的な根拠は、 第130条第2項に、特別支援学校において「知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、道徳科、、特別活動及び自立活動の について、合わせて授業を行うことができる」とされていることである。

- | | | | |
|---|-------------|----------|-------------|
| ク | a 発達や指導 | b 興味や関心 | c 学習や生活 |
| | d 指導計画や内容 | | |
| ケ | a 教育基本法 | b 地方公務員法 | c 学校教育法施行令 |
| | d 学校教育法施行規則 | | |
| コ | a 外国語活動 | b 学級活動 | c 総合的な学習の時間 |
| | d 総合的な探究の時間 | | |
| サ | a 全部又は一部 | b 全部 | c 一部 |
| | d 特に示す部分 | | |

- 4 高知県教育委員会で作成した「高知県の特別支援教育 すべての子どもが輝くために」では、特別な支援を必要とする子どもたちへの切れ目のない支援を実現する仕組みとして次の図を示している。

図中の ~ に当てはまる語句を、下の1~7から一つずつ選びなさい。



- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1 個別の教育支援計画 | 2 個別の移行支援計画 | 3 アセスメントシート |
| 4 つながるノート | 5 就学時引き継ぎシート | 6 キャリア・パスポート |
| 7 支援引き継ぎシート | | |



<解答上の注意>

出題内容により解答方式が異なります。問題の「ア」, 「イウ」などには, 数字 (0~9), 小数点 (.), 符号 (-, ±), 又は文字 (a, b, c, d, e) が入ります。解答欄のア, イ, ウ, …のそれぞれが, これらのいずれかに対応します。下の (例1) ~ (例4) に従って解答欄をマークしてください。

(例1) 「アイ」に 12 と答えたい場合

ア	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

(例2) 「ウ」に b と答えたい場合

ウ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(例3) 「エオ」, 「カキ」に 34.56 と答えたい場合

エ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
オ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
カ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
キ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

(例4) 「クケ」に 7 と答えたい場合

ク	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

6 筆記審査 (専門教養) が終了した後, 解答用紙 (マークシート) のみ回収します。監督者から指示があれば, この問題冊子を, 各自, 持ち帰ってください。

